



2023年6月14日

各位

東京都八王子市美山町2161番地21
株式会社菊池製作所
代表取締役社長 菊池 功
(コード番号：3444)
問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆
電話 042-649-5921

営業外費用、特別利益及び特別損失の計上並びに
2023年4月期における業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年4月期決算において、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上するとともに、2023年3月3日に公表いたしました2023年4月期（2022年5月1日～2023年4月30日）の連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上について

(1) 持分法による投資損失の計上について

2023年4月期第4四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社である株式会社イノフィス、トレ食株式会社などの研究開発活動を推進したこと、販売が弱含みであったことなどにより、連結業績において、営業外費用に持分法による投資損失60百万円を計上いたしました。その結果、当連結累計期間の持分法による投資損失は221百万円となりました。

(2) 投資事業組合運用損の計上について

2023年4月期第4四半期連結会計期間において、当社がLPとして参加する「ロボットものづくりスタートアップ支援投資事業有限責任組合」における投資先の評価減を行ったことにより、連結業績ならびに個別業績において、営業外費用に投資事業組合運用損60百万円を計上いたしました。その結果、当連結累計期間の投資事業組合運用損は138百万円となりました。

2. 特別利益の計上について

(1) 持分変動利益の計上について

2023年4月期第4四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であるトレ食株式会社等が資金調達を行ったことで、連結業績において、特別利益に持分変動利益38百万円を計上いたしました。その結果、当連結累計期間の持分変動利益は64百万円となりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損の計上について

2023年4月期第4四半期連結会計期間において、当社が保有する投資有価証券について、現在の当該投資先の財務状況及び業績状況を勘案し、連結業績ならびに個別業績において、特別損失に投資有価証券評価損110百万円を計上いたしました。その結果、当連結累計期間の投資有価証券評価損は124百万円となりました。

(2) 減損損失の計上について

2023年4月期第4四半期連結会計期間において、当社並びにイームズロボティクス株式会社

が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理することとし、連結業績において、特別損失に減損損失31百万円を計上いたしました。その結果、当連結累計期間の減損損失は40百万円となりました。

4. 業績予想と実績との差異について

(1) 2023年4月期通期 連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,090	△660	△890	△1,035	△85.68
今回実績(B)	5,096	△631	△927	△1,101	△91.15
増減額(B-A)	6	28	△37	△66	△5.48
増減率(%)	0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年4月期)	5,045	△596	△852	△669	△55.43

(2) 2023年4月期通期 個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,050	△450	△990	△81.95
今回実績(B)	4,153	△439	△810	△67.08
増減額(B-A)	103	10	179	14.87
増減率(%)	2.5	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年4月期)	4,134	△157	△327	△27.07

(3) 差異の理由

連結業績において、持分法適用関連会社の資金調達により、特別利益に持分変動利益を計上した一方で、LP参加する投資事業有限責任組合の運用における投資先の評価減を行ったことで営業外費用に投資事業組合運用損を計上したこと、特別損失としてグループ会社ならびに当社の固定資産の減損損失を計上したことにより、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は2023年3月3日の公表数値を下回る見込みとなりました。

以 上